

令和6（2024）年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題（一般選抜）

(科目名)	知的財産法
第1問	
	特許法における「均等論」と呼ばれる法理について、その内容、根拠、意義、問題点等に言及しながら、
	説明しなさい。
第2問	
	いわゆる「応用美術」（大量生産品に付される美的要素）の著作物性について、いかなる解釈が妥当と考えるか、
	裁判例や学説上の異なる見解にも触れたうえで、それぞれの意義や問題点等に言及しながら、論じなさい。
	以上